

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙,目次,奥付,その他

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/1977

日本語科学

Japanese Linguistics

1

1997年4月

April, 1997

国立国語研究所

The National Language Research Institute

Tokyo, Japan

日本語科学 1

Japanese Linguistics 1

国立国語研究所

The National Language Research Institute

1997年4月

April, 1997

創刊のことば

水谷 修

研究論文 Articles

字体に生じる偶然の一致

—「JIS X0208」と他文献における字体の「暗合」と「衝突」—

Coincidence and clash of *jitai*

笹原 宏之 SASAHARA Hiroyuki

7

連用形の時制指定について

Tense specification of continuative forms in Japanese

三原 健一 MIHARA Ken-ichi

25

過去形の使用に関わる語用論的要因 —日本語と朝鮮語の場合—

A pragmatic factor relevant to the use of the past form : A case study from Japanese and Korean

井上 優 INOUE Masaru

生越 直樹 OGOSHI Naoki

37

調査報告 Reports

Phonological characteristics of Japanese-derived borrowings in the Trukese of Micronesia

ミクロネシアのチュウツク語における日本語からの伝播語の音的特徴

Shinji SANADA 真田 信治

53

オーストラリア・ビクトリア州の通訳サービスと日本語

Interpreting services in Victoria, Australia and the Japanese language

平野 桂介 HIRANO Keisuke

67

『東京語アクセント資料』と辞書アクセント

—尾高型アクセントを事例とした資料評価—

A Dictionary of Tone-accent on Words in the Tokyo Dialect and accent information
in four dictionaries : In search of a methodology for data evaluation

相澤 正夫 AIZAWA Masao

80

雑誌九十種表記表の統計

Statistical analysis of written word-forms in ninety magazines

宮島 達夫 MIYAZIMA Tatuo

92

研究ノート Note

助動詞「ない」の連用中止法について

On the suspended usage of the negative auxiliary *nai*

金沢 裕之 KANAZAWA Hiroyuki

105

短 信 Short Note

「レキシコンにおける名詞」プロジェクトについて

The research project “The Noun in the Lexicon”

ヨハナ・マティセン Johanna MATTISSSEN

114

世界の言語研究所(1) 国立国語研究院(韓国)

生越 直樹

122

投稿規定・執筆要領

編集後記

『日本語科学』投稿規程・執筆要領
(1997年4月現在)

1. 目的

本誌は、国立国語研究所における研究、ならびに国立国語研究所の研究活動と関連を有する研究の成果を公表することを通じて、広汎な日本語研究の発展に寄与しようとするものである。

2. 発行の時期

本誌は年2回(4月, 10月)発行する。

3. 投稿資格

国立国語研究所の所員ならびに客員研究員, 非常勤研究員, 国語辞典編集調査員, 外国人招聘研究員, 地方研究員は, 本誌への投稿資格を有する。また, その他編集委員会が適当と認めた研究者に対しても, 原稿執筆の依頼あるいは投稿の勧誘をおこなう。

4. 原稿の内容と種類, 分量

投稿原稿は未刊行のものに限る。投稿原稿の種類と分量(題目, 氏名, キーワード, 要旨, 概要を含む)は以下のとおり。

研究論文: オリジナルな知見の提供を含む学術論文。(20ページ程度)

調査報告: 調査結果の記述を主とする報告。(16ページ程度)

研究ノート: 問題提起, 事例報告, 中間報告などの小論文。(10ページ程度)

この他, 所内外の研究者に展望論文(研究動向, 現時点での課題, 将来の展望などについて論じた論文, 20ページ程度)の執筆を依頼することがある。

5. 原稿の書式

- 1) 原稿は日本語または英語で執筆する。ただし, 例文等において中国漢字(簡体字・繁体字), ハングル, キリル文字, ギリシャ文字を用いることは可(それ以外の文字はローマ字化)。
- 2) 原稿はA4判横書き, 43字×36行で作成する。(編集委員会が認めた場合にかぎり縦書きも可。A4判縦置き, 30字×21行×2段。)英文の場合は半角84字×36行を目安に原稿を作成する。原稿はワープロを使用してできるだけ刷り上がり時のイメージに近い形で作成することが望ましい。
- 3) 研究論文及び調査報告には, **キーワード**(5つ以内), **要旨**(問題と結論の要約, 10行以内), **概要**(議論全体の概要, 1ページ以内)をつける。研究ノートには要旨とキーワードのみをつける。和文論文の場合, 要旨・キーワードは日本語, 概要は英語を用いる(概要には英語のキーワードもつける)。英文論文の場合, 要旨・キーワードは英語, 概要は日本語を用いる(概要には日本語のキーワードもつける)。英文のネイティブ・チェックは執筆者の責任においておこなう。
- 4) 注と文献は本文の後にまとめて示す。文献一覧の書式は以下のとおり。
著者名(発表年)「論文タイトル」『書名/雑誌名』巻号(雑誌の場合) ページ 発行者

6. 査読

研究論文、調査報告、研究ノートは、編集委員会が依頼した2名の査読者が査読要領にもとづき審査し、採録の可否を決定する。著者の氏名は査読者に公開せず、査読者の氏名も著者に公開しない。査読者と著者との連絡（査読者から著者への照会や修正指示、著者から査読者への回答など）はすべて編集委員会を介しておこなう。

7. 投稿の手続き

投稿原稿は随時受けつける。投稿に際しては、「著者の氏名／所属／連絡先（共著の場合は代表者の連絡先）／原稿の種類（研究論文、調査報告、研究ノートの別）」を明記の上、原稿一式を編集委員会に送付する。投稿原稿は原則として返却しない。

8. 採録決定後の修正

採録決定後、体裁や書式について編集委員会から著者に修正を求める（あるいは編集委員会の判断で書式の細部を変更する）ことがある。査読者及び編集委員会から指示があった箇所を除き、採録決定後の改稿や修正は認めない。

9. 著作権

掲載された論文等の著作権（著作権法第27条、28条を含む）は国立国語研究所に帰属する。

原稿の送付、ならびに問い合わせは下記編集委員会まで。

〒115 東京都北区西が丘3-9-14 国立国語研究所 『日本語科学』編集委員会

E-mail : kagaku@kokken. go. jp Fax. 03-5993-7640

編集後記

学術誌『日本語科学』第1号が刊行のはこびとなった。原稿執筆者、査読者等の各位にお礼を申し述べたい。この雑誌は巻頭の所長の挨拶にもあるように、査読制をとっている。査読をお願いした方のなかには国立国語研究所と直接の関係のない方々や海外の方々も多くふくまれている。ほとんどの方が快く引き受けてくださり、かつ編集の都合上短期間でお願いしたにもかかわらず貴重なコメントを寄せていただいた。慣例により査読に携わった方々のお名前の公表は後の号に譲るが、深謝の意を表したい。

また、英文の校訂にあたっては外国人招へい研究員のエリク・ロング氏の協力をえた。

この雑誌の性格は広く開かれたものである。多くの日本語研究者および日本語に関連する領域の研究者は、すべてこの雑誌の関係者ということである。関係者に支えられて、雑誌は成長していくものと確信している。できるだけ多くの方々からのご投稿とご助言を期待している。なお、次号は10月の刊行を予定している。投稿は随時受け付けているが、6月末までにご投稿いただければ幸いである。

編集委員

江川 清 (委員長, 国立国語研究所)

井上 文子 (国立国語研究所)

井上 優 (国立国語研究所)

杉山 明子 (東京女子大学)

鈴木 美都代 (国立国語研究所)

宮島 達夫 (京都橘女子大学)

『日本語科学』 1

平成9年5月

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14
電話 03-3900-3111(代)

[本書の市販品発行所]

株式会社国書刊行会

〒174 東京都板橋区志村2-10-5
TEL 03-5970-7421